

平成 22 年度 自動車リサイクルに関する自動車所有者へのアンケート調査結果

自動車所有者へのアンケート調査結果を次のとおり報告する。(詳細は別紙参照)

1. 調査要項

- (1) 実施期間 3 日間 [平成 23 年 3 月 25 日(金) ~ 27 日(日)]
- (2) 対象 過去 3 ヶ月以内に自動車を購入した全国 18 歳以上の男女
(東日本大震災の影響で東北地方 6 県及び茨城県を除く)
- (3) 抽出方法 インターネット調査会社のインターネットパネル(約 210 万人)から無作為抽出
- (4) サンプル数 1,100 人
- (5) 調査方法 インターネット調査方式(無作為抽出された方々に対し、Web 上で実施)

2. 調査結果のポイント

ユーザー理解活動の訴求点の一つである「ユーザーの自動車リサイクルシステムとの関わり方」についての調査結果(ポイント)は次のとおり。

(1) 認知状況

自動車を購入した 1,100 人のうち 1,003 人(91.2%)が、自動車リサイクル法について「どんな仕組みか概要を知っている」「聞いたことがある」と回答。(昨年度実績 90.8%)

(2) 自動車購入時におけるリサイクル料金支払いの認識

自動車を購入した 1,100 人のうち 881 人(80.1%)が、自動車購入時にリサイクル料金を「支払った」「支払った気がする」と回答。(昨年度実績 79.7%)

(3) 預託済み中古車売却時におけるリサイクル料金受け取りの認識

保有自動車を売却(下取り)した 566 人のうち 312 人(55.1%)が、相手方からリサイクル料金を「受け取った」「受け取った気がする」と回答。(昨年度実績 50.6%)

(4) 使用済自動車の引き渡し時における『使用済自動車引取証明書』の受け取りの認識

保有自動車を使用済自動車として引き渡した 132 人のうち 62 人(47.0%)が、引取業者から『使用済自動車引取証明書』を「受けた」「受けた気がする」と回答。(昨年度実績 43.3%)

3. 今後の活動について

自動車所有者と接点ある関連事業者は、自動車所有者に対して自動車リサイクルの基本的な内容を説明しているところだが、更にユーザー理解活動の訴求点である①リサイクル料金の使われ方、②ユーザーの自動車リサイクルシステムとの関わり方などをわかりやすく伝えるために、アンケート調査などの広聴活動で得られた情報を参考にしながら今年度のユーザー理解活動を推進する。

以 上